週刊　タバコの正体

Vol.34

第３４巻（2016.4.18～2016.7.13）

第1話	先輩の態度
第2話	喫煙の不思議
第3話	ニコチンの補給
第4話	ピットイン
第5話	がんの確率
第6話	恐るべきタバコ
第7話	どちらが危ない
第8話	ある日突然
第9話	禁煙治療
第10話	見て見ぬふり
第11話	タバコの死者数
第12話	タバコ代
第13話	国家予算
第14話	タバコの税収と損失

和歌山県立和歌山工業高等学校　発行

volume 34
2016/4-7
Serial number 462

第1話

週刊 タバコの正体

新入生の皆さん、ようこそ和工へ。君たちには400人の同級生と800人の先輩、そして100人の先生がついています。不安に思う事もあるでしょうが、これだけ多くの仲間と頼れる人がいると考えて、積極的な高校生活をして欲しいと思います。

一方、上級生の皆さんにはそんな後輩たちの不安をなくし、新入生に希望を持ってもらえるよう手本を示してもらわなければいけません。それが創立102年目を迎える和工の伝統を継承していく事につながるのですから、心して欲しいところです。

さて、「和工生はタバコに手を出さない」こともその伝統の一つなのです。タバコの煙には下の表に示すように発がん物質や多くの有害物質が含まれています。こんな事実は和工生の誰もが知っている常識で、大半の生徒は「タバコは一生吸わない」と思っています。先輩の「タバコは吸わない」という態度が後輩たちへの良い手本となるはずです。

産業デザイン科　奥田　恭久

紙巻たばこ煙有害物質の主流煙と副流煙中の含有量

※主流煙：本人が吸い込む煙　副流煙：まわりの人が吸わされる煙

	主な影響（症状）	主流煙（MS）	副流煙（SS）	SS/MS 比
●発がん物質（ng/本）				
ベンゾ(a)ピレン	発ガン物質	20-40	68-136	3.4
ジメチルニトロソアミン		5.7-43	680-823	19-129
メチルエチルニトロソアミン		0.4-5.9	9.4-30	5—25
ジエチルニトロソアミン		1.3-3.8	8.2-73	2-56
N-ニトロソノルニコチン		100-550	500-2750	5
4-(N-メチル-N-ニトロソアミノ)-1-(3-ピリジル)-1-ブタノン		80-220	800-2200	10
ニトロソピロリジン		5.1-22	204-387	9-76
発ガン物質キノリン		1700	18000	11
メチルキノリン類		700	8000	11
ヒドラジン		32	96	3
2-ナフチルアミン		1.7	67	39
4-アミノビフェニール		4.6	140	30
O-トルイジン		160	3000	19
●その他の有害物質（mg/本）				
タール（総称として）		10.2	34.5	3.4
ニコチン	心筋梗塞、狭心症	0.46	1.27	2.8
アンモニア	ニコチンをガス化	0.16	7.4	46
一酸化炭素	全身的な酸素欠乏	31.4	148	4.7
二酸化炭素		63.5	79.5	1.3
窒素酸化物	心血管疾患	0.014	0.051	3.6
フェノール類	繊毛傷害物質	0.228	0.603	2.6

『厚生労働省の最新たばこ情報』 サイトから

volume 34
2016/4-7
Serial number 463

第2話

週刊　タバコの正体

タバコには200種類以上の有害物質と60種類以上の発ガン物質が含まれています。その証拠にタバコのパッケージには次のような警告文が印刷されています。

『喫煙は、あなたにとって肺がんの原因の一つとなります。』
『喫煙は、あなたにとって心筋梗塞の危険性を高めます。』
『喫煙は、あなたにとって脳卒中の危険性を高めます。』

にもかかわらず、喫煙者はタバコを買い求め、来る日も来る日も有毒な煙を吸い続けているのは不思議ですよね。

例えば、『これを飲めば、ガンになる可能性があります』と書いているジュースを買う人はいないでしょう。でもタバコなら買う人は大勢いるのです。そう考えると、そんな危険なモノがコンビニや自動販売機で販売されていること自体が、さらに不思議ですよね。

では、どうしてタバコを吸い続ける大人が多いのでしょうか。
それは、一旦タバコを吸い始めると「やめられなくなる」からなのです。

では、どうしてタバコは「やめられなくなる」のでしょうか。それは、タバコに含まれる有害物質の一つ“ニコチン”の仕業です。ニコチンは毒劇物取締法で毒物に指定されるほどの物質で、体内に入ると脳の神経に作用して、左図にあるようにドパミンやセロトニンなどの神経伝達物質を分泌させます。するとそのせいで人は“快感”を感じてしまいます。これは「コカイン」「モルヒネ」などの覚醒剤や麻薬が人体に与える感覚と同じで、この“快感”を覚えてしまうと、自分の意思が及ばない脳の生理的な反応がニコチンを要求し続けるわけです。

ノバルティス ファーマ 「禁煙サポートサイト いい禁煙」から

これが「ニコチン依存症」と呼ばれる症状で、『喫煙は肺がんの原因となる』とわかっていても、「やめたい」と思っていてもニコチンを補給するために、来る日も来る日もタバコを吸い続けなければならなくなるわけです。

いかがでしょうか。こんなことになるのがわかってしまえば、わざわざタバコに手を出すのは馬鹿げていると思いますよね。

産業デザイン科　奥田　恭久

Zero Tobacco Project
In WAKO Since 2005

volume 34
2016/4-7
Serial number 464

第3話

週刊　タバコの正体

タバコを吸い始めると、知らない間にニコチン依存症になってしまいます。そうなってしまった人の脳は常に体内にニコチンがあることを要求し続けるわけですが、ニコチンの滞留時間は長くありません。だから、ニコチンが切れてくるとそれを補給するためにタバコが吸いたくなるのです。

ニコチンが切れると、「イライラ・欲求不満・怒り」などを感じ、落ち着かなくなったり、集中できなくなりやる気が低下するなどの症状が現れます。こうなると頭のなかは、「タバコを吸いたい」思いでいっぱいになり、喫煙するための行動に走るわけです。そして一服すると気分が落ち着き、やる気が回復するのですが、喫煙者はこの時の感覚を「ストレスが解消されリフレッシュされた」と思い込んでしまうのです。だから、「タバコは気分を落ち着かせる効果がある」と信じている人は少なくありません。

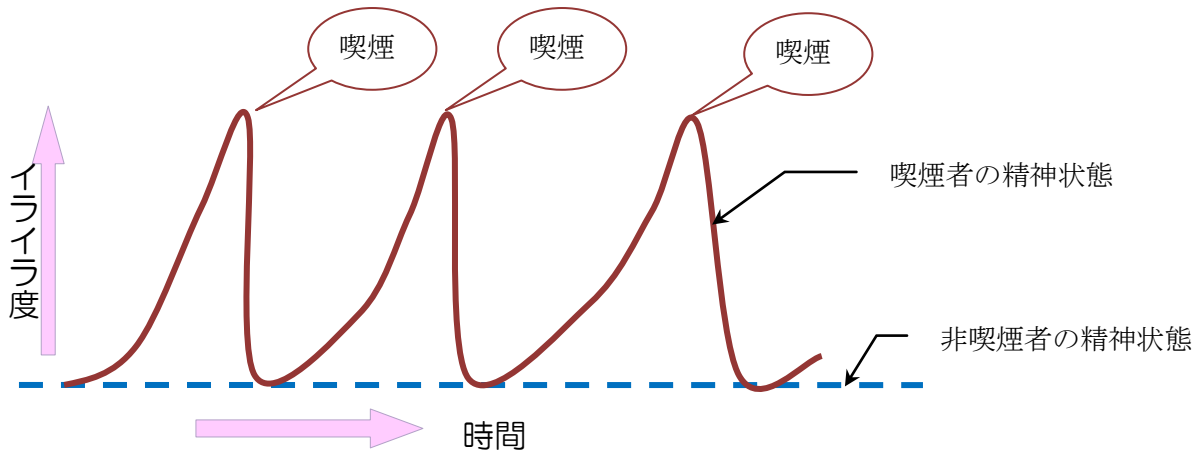
しかし、そもそもタバコを吸いたくなるのは体内のニコチンが切れてくるからなのです。もともとタバコを吸い始めていない人には、全く感じることがない“イライラ”を解消するために周期的にタバコを吸わなければならない、いや「吸わされている」と言う訳です。

その様子を示したのが下の図です。タバコに手を出していない人は、ニコチンには一切影響されず一日中過ごすことができますが、一旦ニコチンを体内に取り込んだ人達は、毎日何度もニコチンを使い果たすたびにタバコを吸ってそれを補給し続けなければなりません。

喫煙者がタバコを吸うと気分が落ち着く瞬間は、非喫煙者の通常の精神状態に戻っているだけです。つまり、タバコを吸い始めるのは、わざわざイライラを感じるためにニコチンを取り込むようなものなのです。

だから、やっぱりタバコに手を出すのは馬鹿げていますよね。

産業デザイン科　奥田　恭久



Zero Tobacco Project
In WAKO Since 2005

volume 34
2016/4-7

Serial number 465

第4話

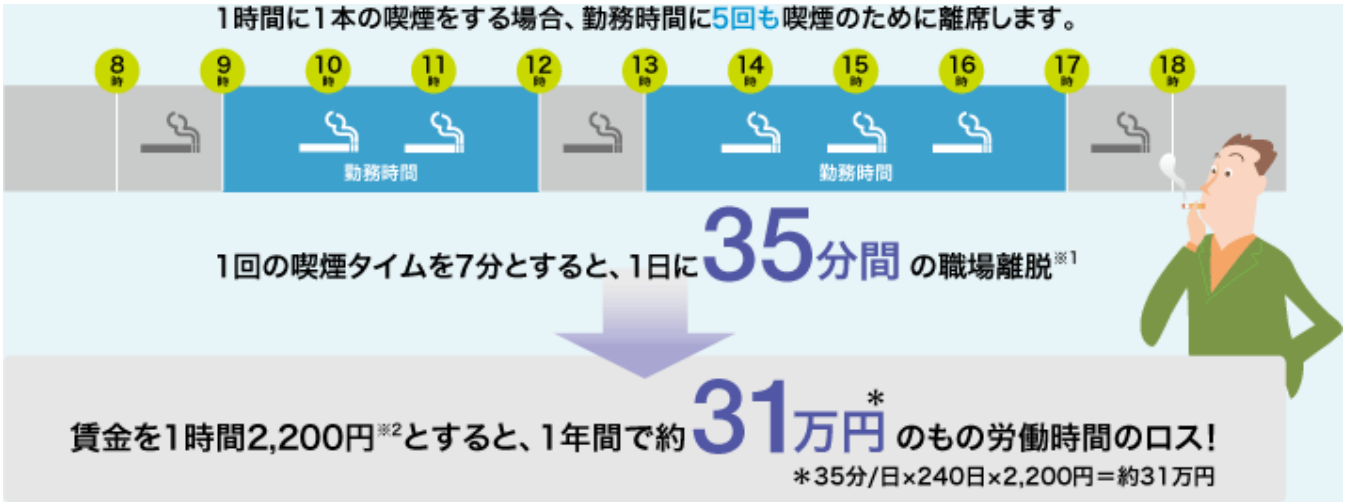
週刊　タバコの正体

ニコチン依存症になってしまった人たちは、毎日必ず何本かのタバコを吸わずにはいられません。では、一日に何本ぐらい吸うのでしょうか。下の表は、平成23年版の厚生労働省＜国民健康・栄養調査＞による、「毎日タバコを吸っている人が1日に吸う本数の平均値」です。50代男性の毎日20．5本が最も多いのですが、全年齢の平均は16．3本となっています。

㈱iCARE　ホームページから

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	全体
男性	14.0	17.2	16.9	20.5	18.9	14.5	17.4
女性	10.8	13.4	13.7	14.6	13.6	11.9	13.3
総数	13.0	16.1	15.9	19.2	17.8	14.0	16.3

寝ている間はタバコを吸いませんから起きている時間を16時間とすると、ほぼ1時間ごとにニコチンを補給するためにタバコを吸っている計算になります。このペースが仕事中でも変わらないとすれば、喫煙者の勤務状況は下図のようになります。



※1　厚生労働科学研究費補助金（第３次対がん総合戦略研究事業）　分担研究報告書　職域における効果的な禁煙支援法の開発と普及のための制度に関する研究：平成 18 年度［L20091111076］
※2　独立行政法人 統計センター：平成 21 年賃金構造基本統計調査（一般労働産業大分類）：2010［L20101111008］より作図

ファイザー「職場の喫煙対策」 から

一日たった35分間ですが、8時間の勤務時間に占める割合は無視できません。金額に換算すると年間31万円分もなるのですからね。そして、もうひとつ重要な作業上の問題があります。それは、1時間以上連続して作業することが苦痛となる、という事です。

ニコチンを補給しなければならないのは、まるで自動車レースで給油のためにピットインしなければならない状況と同じだと思いませんか。給油でロスした遅れを取り戻すには、今までより頑張らなければいけませんが、給油せずに済めば普段どおり頑張っていれば遅れることはありません。

タバコに手を出してしまえば、一生ニコチンを補給するために膨大な時間が必要になるかもしれません。そんな時間の使い方はしたくないですよね。

産業デザイン科　　奥田　恭久

Zero Tobacco Project
In WAKO Since 2005

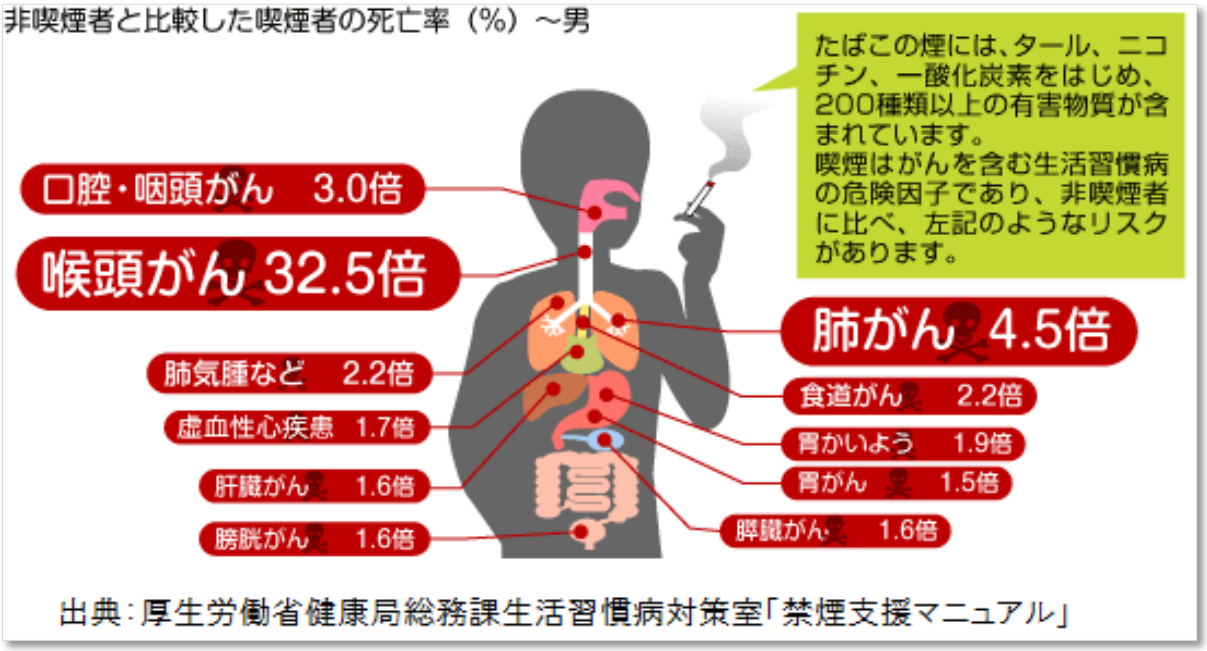
volume 34
2016/4-7

Serial number 466

第5話

週刊　タバコの正体

ニコチン依存症になってしまうと、毎日必ず何本かのタバコを吸ってニコチンを補給しなければ落ち着いて生活できません。この事は、もうわかってもらえましたよね。そして、そのタバコを吸うためだけに相当な労力や時間を使わなければならない事も知ってもらいました。



新潟県【上越】たばこから健康を守ろう！情報ステーションから

ところで、タバコの煙には、様々な有害物質が含まれている事も忘れてはいけません。ニコチンを補給するためにタバコを吸うと、上図にあるように200種類以上の有害物質もついでに吸い込んでしまいます。すると、これらの物質のせいでいろんな病気になる確率が高くなります。例えば、タバコを吸わない人に比べると、肺がんで死亡する確率は4．5倍、喉頭がんは32．5倍にもなるのです。

タバコのパッケージには『喫煙は、あなたにとって肺がんの原因の一つとなります。』と書いていますからね。

ところが、タバコを吸い続けて肺がんを発症するまでには30年以上もかかります。そのために毎日何本も吸っていても、自らの健康が害されている事を自覚している喫煙者は、ほとんどいないでしょう。しかし、確実に肺や喉をはじめ様々な臓器にダメージを与え続けるのです。

ニコチン依存症になってしまうと、自らの健康を犠牲にしてタバコを吸い続けてしまうわけですから、わざわざタバコを吸い始める必要は全くありません。

産業デザイン科　奥田　恭久

Zero Tobacco Project
In WAKO Since 2005

volume 34
2016/4-7
Serial number 467

第6話

週刊　タバコの正体

３月２９日、２歳になる息子ブライアン・ジュニアを抱くブライアン・リー・カーチス３３歳。

左の写真は、フロリダで幸せに暮らしていた親子です。撮影された1999年3月29日には、息子を片手で抱きあげた精悍な父親のブライアンが映っています。ところが、その直後の4月2日に肺がんを発病、それからたった2ヶ月後、下の写真のような姿となり6月３日に亡くなりました。5月10日に34歳になったばかりでした。

とても同じ人だと思えませんが、13歳から吸い始めていたタバコが、彼の人生をたった34年にしてしまったのです。本人はもちろん、残された家族にも残酷すぎます。

恐るべきタバコの現実です。

産業デザイン科　奥田　恭久

たった２ヶ月後の６月３日に亡くなった。
[Photo: Curtis Family]

Zero Tobacco Project
In WAKO Since 2005

volume 34
2016/4-7

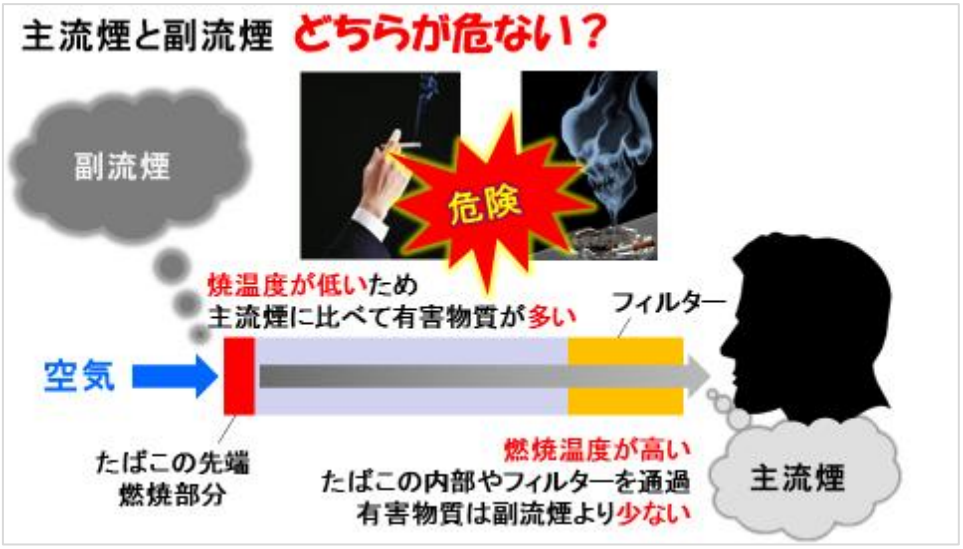
Serial number 468

第7話

週刊　タバコの正体

皆さん、タバコの煙ってどこから出ているか気にかけた事があるでしょうか。火が付いているのは先端でも煙を吸い込むのは反対側ですよね。だから、煙は口にくわえた方から出ているような気になりますが、吸い込んでいない時は火のついている先端から出ています。つまり、タバコの両側から煙は出ているのですが、下図にあるように喫煙者が吸い込む煙を「主流煙」、先端から出ているのを「副流煙」と呼んでいます。

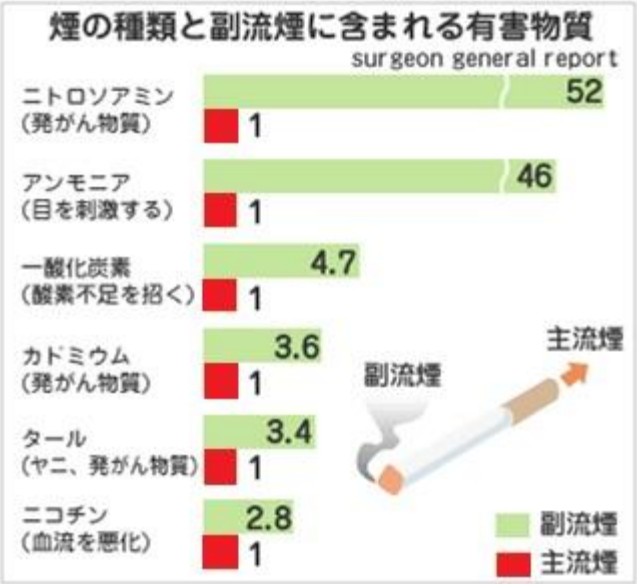
じつは、主流煙と副流煙には大きな違いがあります。主流煙は、喫煙者が吸い込む空気のせいで燃焼温度が高くなり有害物質が燃焼しやすい上、フィルターを通過するので、意外にも有害性は低くなります。対して、副流煙は燃焼温度が低く「くすぶっている」状態なので有害性が高いのです。ということで、なんと喫煙者が吸い込む煙より、先端から出る副流煙のほうが“危険”なのです。



くにちか内科クリニックHPから

下のグラフを見れば、副流煙がどのくらい危険なのかがわかります。例えば、ニトロソアミンという発がん物質は主流煙の52倍、目を刺激するアンモニアも46倍も含まれています。だから、手に持ったタバコの煙はすごく目にしみるのです。

さて、主流煙は喫煙者本人が吸い込みますが、“危険”な副流煙は誰が吸い込むのでしょうか。



横浜市健康福祉局「禁煙NOTE」サイトから

そうです、喫煙者の周りにいるその他大勢の人が吸い込んでしまいますよね。これが、他人のタバコを吸わされてしまう“受動喫煙”なのです。

いかがですか、こんな事実がわかってしまえば、公の場所が禁煙なのは当然ですよね。

産業デザイン科　奥田　恭久

Zero Tobacco Project
In WAKO Since 2005

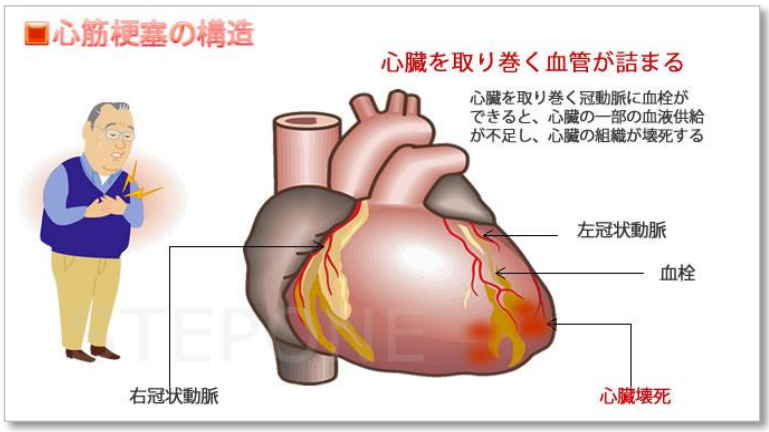
volume 34
2016/4-7

Serial number 469

第8話

週刊　タバコの正体

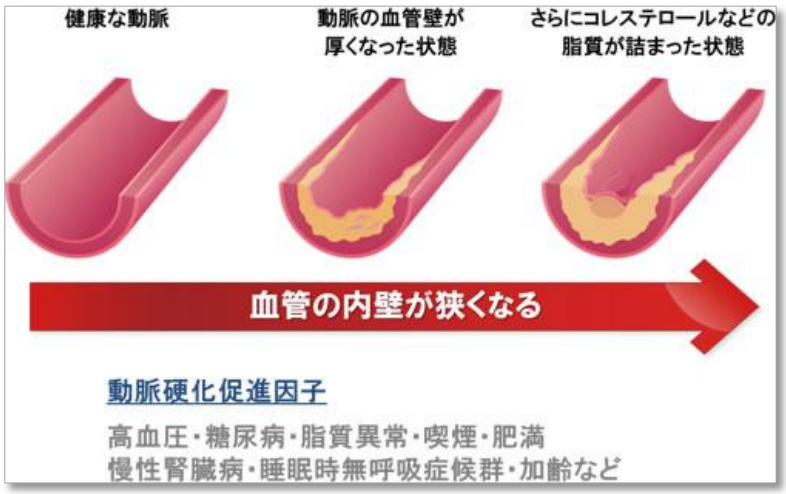
皆さん「心筋梗塞」という言葉を知っていますか。「しんきんこうそく」と読むのですが、心臓のまわりの動脈血管がつまって血液が流れなくなる病気の名前です。



Healthil「健康管理」サイトから

血液が流れなくなった心臓の筋肉（心筋）は壊死（えし）し動かなくなります。つまり心臓が止まる病気ですから、生命に関わる緊急事態です。一刻も早い処置が必要とされるのですが、ある日突然発症するケースがほとんどなので、対応が遅れ死亡にいたる場合もあります。

もうひとつ、「動脈硬化」（どうみゃくこうか）という言葉も紹介します。左の図のように動脈の血管にコレステロールなどが詰まったりして内壁が狭くなる病気の名前です。



阪和記念病院ホームページから

じつは「心筋梗塞」と「動脈硬化」は非常に関連性があり、動脈硬化が進行すると血管が詰まる確率が高くなります。すると、当然心臓の血管も詰まる確率が高くなるわけです。

「動脈硬化」が進行する原因には、高血圧や糖尿病などがあげられますが、なんと“喫煙”も影響することがわかっています。タバコは血管にダメージを与えるのは医学的には常識なのですが、一般にはあまり知られていません。

一旦、タバコを吸い始めてニコチン依存症になってしまうと、ニコチンを補給するために有害な煙を吸い続ける日々を送ります。外見上は何も異常がない毎日でも、気付かないうちに血管が痛んでいるわけです。・・・・・そして、何十年か後のある日突然、血管がつまり、激痛とともに命に関わる緊急事態に陥るかもしれません。

そんな事態になる可能性を知りながら、あえてタバコに手をだす必要はありません。

産業デザイン科　　奥田　恭久

Zero Tobacco Project
In WAKO Since 2005

volume 34
2016/4-7
Serial number 470

第9話

週刊　タバコの正体

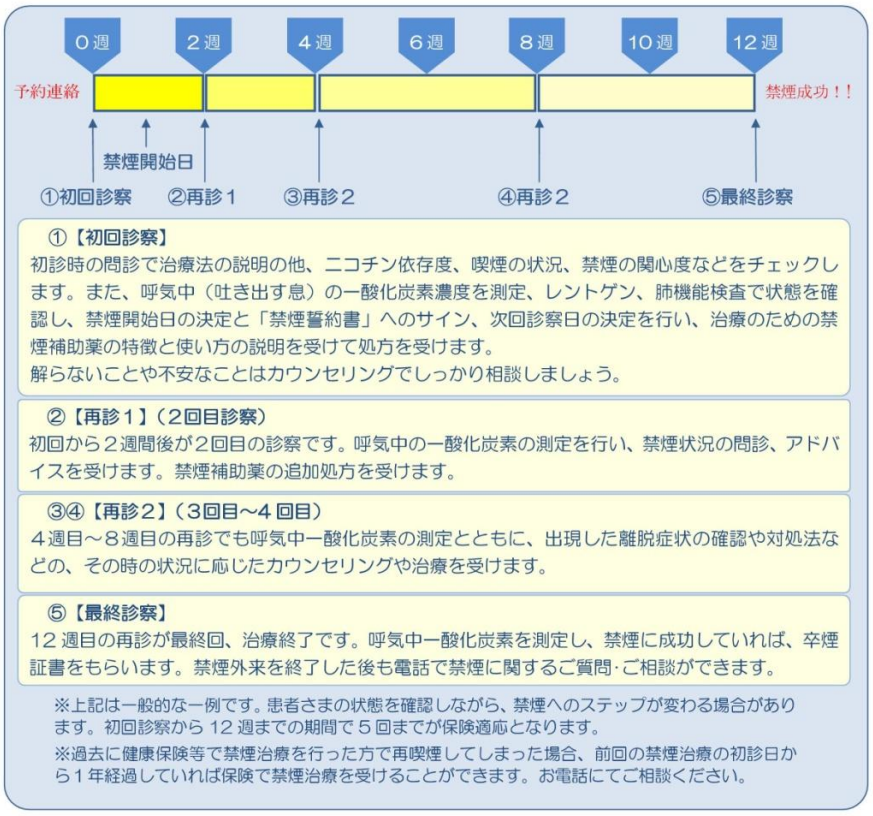
「タバコは20歳になってから」というフレーズは知っていますよね。未成年者喫煙禁止法という法律によって満20歳未満の喫煙は禁止されているからです。しかし、未成年者でもニコチン依存症になってしまっている人は少なくありません。皆さんのまわりの友人や先輩後輩にもいるかも知れません。

そんな人達は、好奇心や興味から何かのきっかけで、タバコに手を出してしまったのでしょう。その時、現在の君たちのようにタバコに関する正しい知識を持っていれば、吸い始めていなかったかも知れないと思うと残念で仕方がありません。と言うのも、高校生がニコチン依存になってしまうと大きなハンディを背負うことになるからです。

例えば、タバコを手に入れる手段を想像してみてください。まさか本人が直接コンビニなどの店頭で購入するわけにはいかないので、何か目立たない方法で苦労してでも入手しなければなりません。さらに、隠れて吸うための場所とタイミングをいつも気にしなければなりません。その上、ニコチン切れによるイライラにも苦しめられるでしょう。そして、喫煙を発見されると謹慎などの指導を受けなければなりません、そんなケースがたび重なると進路にも影響してきます。

たまたま、タバコに手を出してしまったばっかりに、こんなハンディを背負ってしまっているのはかわいそうです。本人たちはどんな気持ちでいるのかわかりませんが、本来の高校生活に使うべき時間や労力を隠れてタバコを吸うために使わなければならない状況から救ってあげたいと思っています。

治療の全体の流れ（一例）



高槻赤十字病院ホームページから

さて、左の表は「お医者さんと一緒に禁煙する」禁煙治療の一例です。ニコチン依存症は“禁煙外来”のある病院で治療してもらえる事を知っているでしょうか。

未成年でも治療を受けられるので、少しでもタバコを吸い始めた事を後悔しているのなら、治療してもらいませんか。

たまたま吸い始めてしまった事を一生続ける必要はありません。

産業デザイン科　　奥田　恭久

Zero Tobacco Project
In WAKO Since 2005

volume 34
2016/4-7
Serial number 471

第10話

週刊　タバコの正体

満20歳未満の喫煙を禁止している『未成年者喫煙禁止法』は、1900年（明治33年）に制定されています。成長過程にある青少年が有害なタバコを吸うのは明らかに良くありませんが、それを法律で100年以上も前に規制していた国は多くありません。にもかかわらず、現実にはニコチン依存症になってしまう子どもは数多く存在し、現在もなくなっていません。

残念ながら、本校でも喫煙が発覚して指導される生徒は存在します。1200名のうちニコチン依存症の生徒が何人いるのかわかりませんが、その生徒はニコチン切れに耐えられずどこかでタバコを吸っているのです。

ところで、タバコを吸う高校生の姿を見たことがありますか。もし、そんな場面に遭遇した人がいれば、その時あなたはどんな気持ちになり、どんな行動をとったか覚えていますか。相手が全く知らない人なら、いやな気分になりながら、多分「見て見ぬふり」をして通りすぎた事でしょう。

しかし、それが友達だったとしら、あなたはどんな行動をとるでしょうか。・・・・・「見なくてもいいものを見てしまった」と後悔する人もいれば、「あいつ、タバコを吸うのか」と驚く人もいるでしょうが、知らない人の場合と同じように「見て見ぬふり」をして通りすぎるのではないでしょうか。

では、世間の人はどう感じるでしょうか。例えば、和工の制服を着たままタバコをくわえている姿をみた人の気持ちを想像してみてください。

「あれっ、あの子、和工の子やで・・・・」と思われた瞬間から、和工の評価は大きく低下するのは目にみえますよね。そして、たった一回見ただけでも「和工の生徒はタバコを吸っている」という事実は、その人の口から世間に流れ、「和工にはタバコを吸っている生徒がいるからなぁ」という風評が広がる可能性は大きくなります。

1200人のうちの大多数は、「一生タバコは吸わないつもり」の生徒ばかりなのに、ほんの数人のために、「和工の生徒はタバコを吸う」と評価されてしまうのは、本当に不本意です。

そこで、皆さんに考えて欲しい事があります。タバコを吸う友達を「見て見ぬふり」をしていても良いのでしょうか。友達がタバコを吸うのは、自分には関係のない事かも知れません。でも、本人のために、自分たちのために、そして和工のために、タバコを吸わせない行動が必要ではないでしょうか。

産業デザイン科　　奥田　恭久

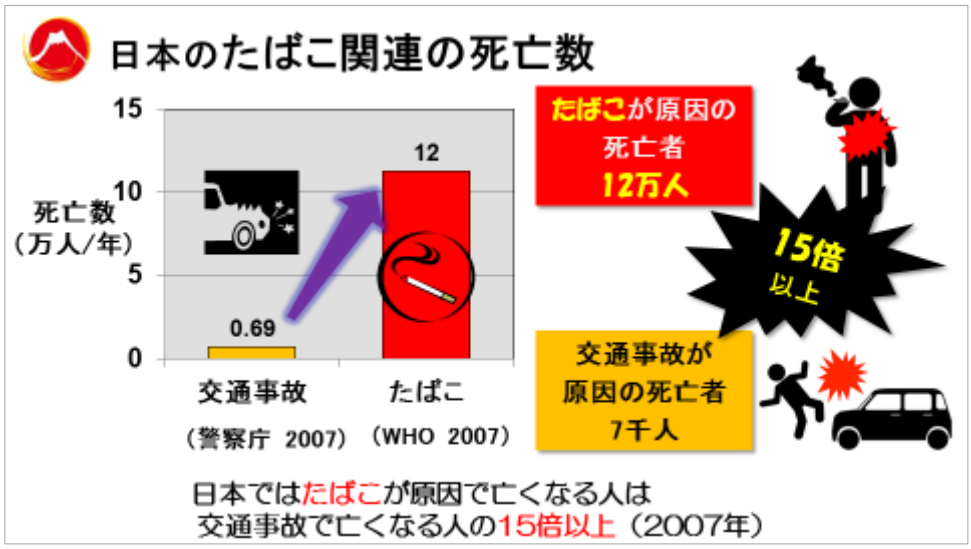
Zero Tobacco Project
In WAKO Since 2005

volume 34
2016/4-7
Serial number 472

第11話

週刊　タバコの正体

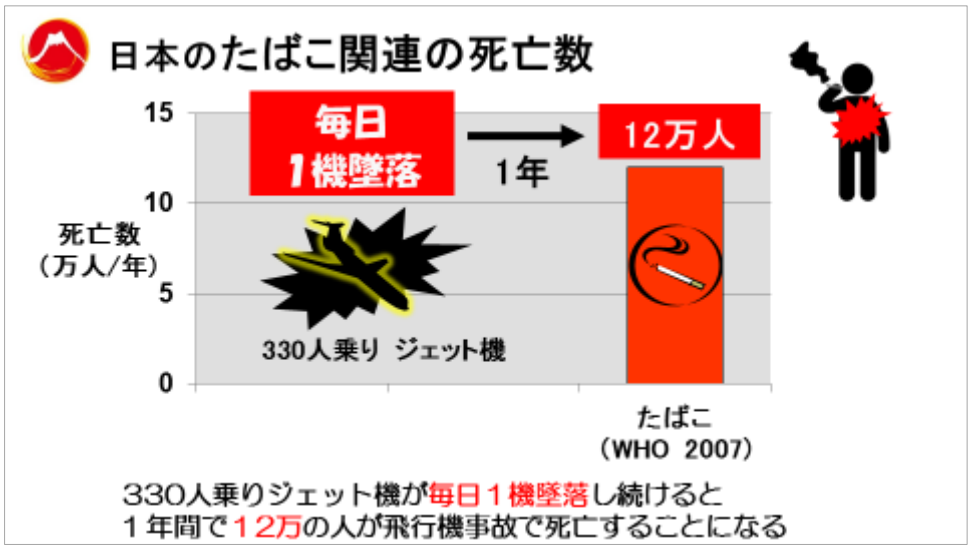
喫煙を続けると、ガンなどの病気になり死亡する確率が高くなる事は知っていますよね。タバコを吸い始めていなければ健康でいられたのに、たまたま何かのきっかけで吸い始めニコチン依存症になってしまった人たちの多くは、それが原因で命を落としてしまいます。では、いったいどのくらいの人が亡くなっているのでしょうか。



くにちか内科クリニックHPから

左図にあるように9年前（2007年）には、12万人が、タバコが原因で亡くなっています。日本の人口1億2千万人のうちの12万人なので、0．1％がタバコのせいで亡くなっている計算になります。

図をみればわかるとおり、実はタバコが原因で亡くなる人の数は、交通事故で亡くなる人の15倍以上もあるのです。



さらに、これを飛行機に置き換えれば、330人乗りの旅客機が毎日1機墜落する死亡事故が発生しているのと同じペースなのです。毎日こんな事故が発生したら、とんでもない事態ですよね。

もし、旅客機が墜落するような事故が発生すれば大惨事となります。しかし、タバコを吸い続けた事によって、そんな大惨事と同じ死者が毎日発生している事に世間は全く気付いていないかのようです。交通事故や飛行機事故をなくす努力をするのは当たり前の事ですが、同じようにタバコによる死亡者をなくす努力も必要だと思いませんか。

産業デザイン科　　奥田　恭久

Zero Tobacco Project
In WAKO Since 2005

volume 34
2016/4-7

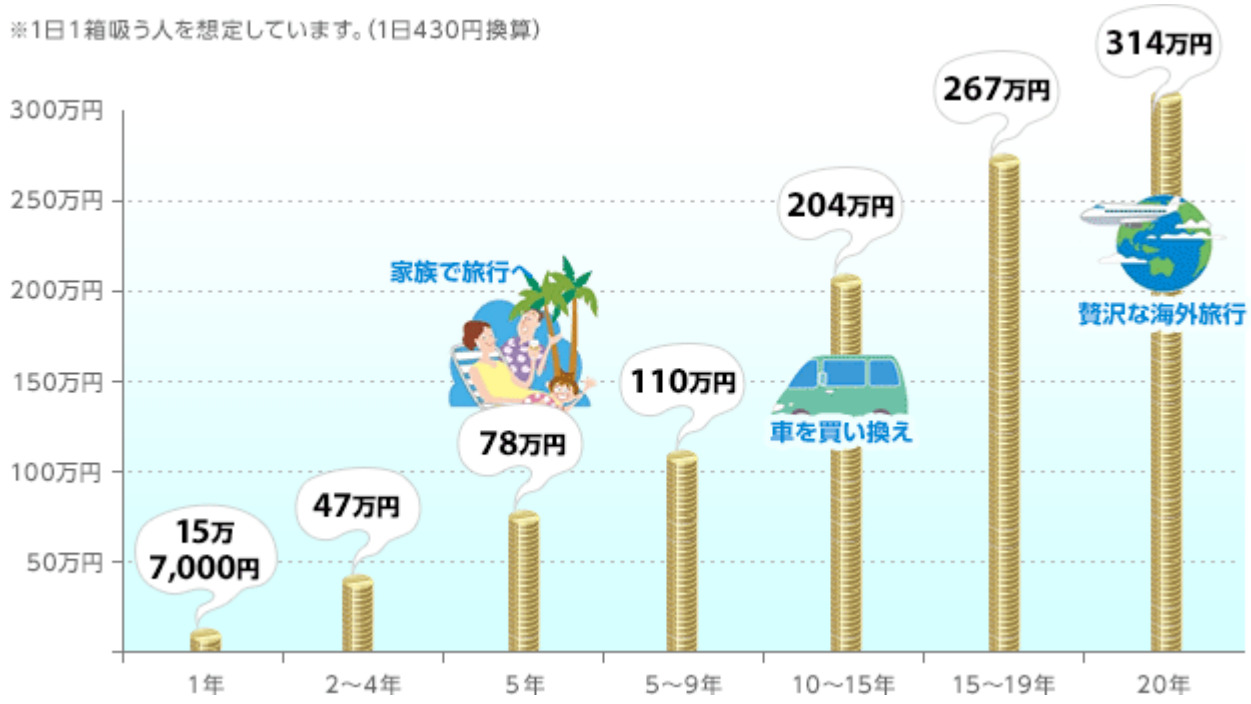
Serial number 473

第12話

週刊　タバコの正体

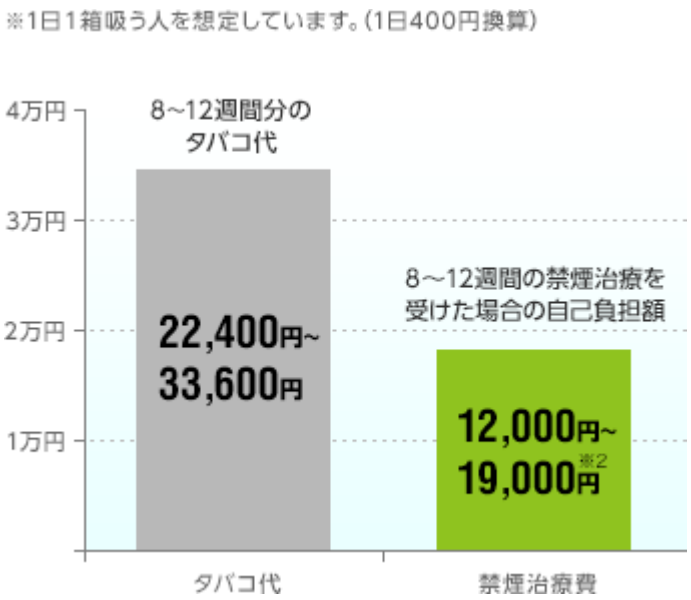
ニコチン依存症になると、毎日必ず何本かのタバコを吸い続けなければなりません。そのためにはタバコを買い続けなければいけないのですが、タバコ代っていくらかかるか知っていますか。

現在、1箱20本入りのタバコの値段は430円前後です。仮に毎日1箱を1年間買い続けると、430円×365日＝15万6950円になります。1年でこんなにかかるのに、20年や30年も喫煙を続ける人は、タバコ代に相当なお金が必要になりますよね。その様子を示したのが下のグラフです。



20年間買い続けると314万円もの大金が有害な煙となって消えてしまうわけです。そして、その煙は自分の健康を害するのですから、まるで病気になるために、こんなにお金をかけているようなものです。そう考えると、早いうちにタバコをやめるべきですよね。

じつは、右図にあるようにタバコを買うお金を病院での禁煙治療に回してもお釣りがきます。こんな事も知っておいて下さい。



ファイザー「すぐ禁煙.jp」から

産業デザイン科　　奥田　恭久

Zero Tobacco Project
In WAKO Since 2005

volume 34
2016/4-7
Serial number 474

第13話

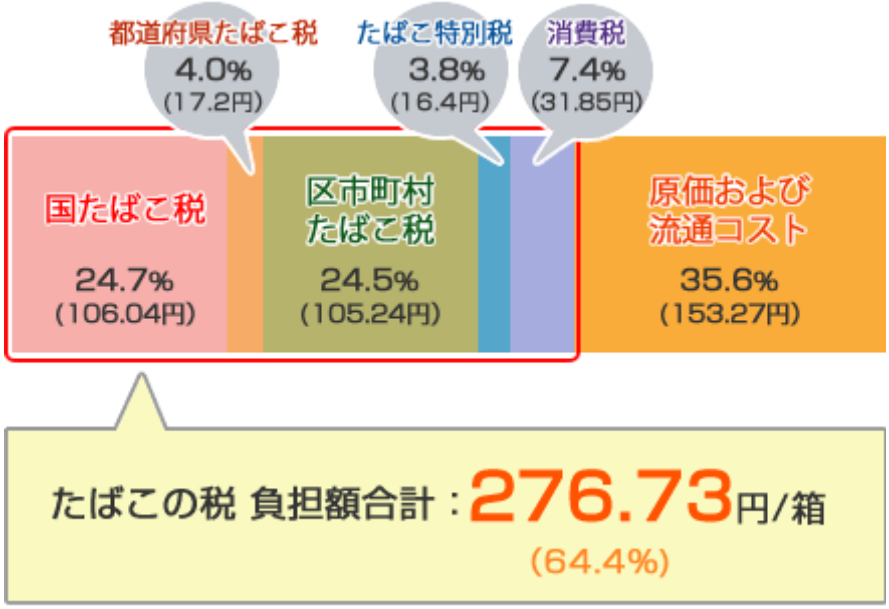
週刊　タバコの正体

タバコは健康に有害で、そのせいで年間 12 万人もの人が亡くなっている事はすでに紹介しました。でも、そんな危険な商品が、どうして販売されているのでしょうか。

日本において、タバコが広く販売され始めたのは約140年前、明治維新を経て近代国家として歩み始めた頃でした。その頃、日本の大きな課題は軍事予算が大きかった国家の財源確保だったのですが、その解決策のひとつがタバコからの税徴収だったという訳です。1876年に「煙草税制」が始まり、約30年後の1904年「煙草専売法」という法律のもとで大蔵省（現在の財務省）が全てを管理することになりました。この法律は1984年まで維持されたので80年もの間、国が直接タバコを生産販売していた事になります。

右は1957年（昭和32年）、第二次世界大戦後、大蔵省から業務を引き継いだ国営企業だった日本専売公社が作成した宣伝ポスターです。「今日も元気だ。たばこがうまい！」という現代では、想像できないキャッチコピーです。

さて、このタバコ税は現在も存在しています。下の図を見てください。一箱430円のタバコを買うとそのうちの276．73円が税金として、国や地方自治体に納められています。タバコは本体よりも税金の方が高い特異な商品なのです。国家の繁栄のためにタバコが利用され始めてから140年もたった現代、タバコの健康被害は甚大であることがわかっても、その売上は国家予算に組み込まれ販売が続いているのです。



（たばこ1箱＝430円換算のとき）

東京都たばこ商業協同組合連合会HPより

一旦ニコチン依存症になってしまうと、タバコを買い続けなければなりません。それを国家として税収に利用しているのは、財政のために国民の健康を犠牲にしているかのようです。

現代の日本は、近代国家を目指していた一世紀前とは違います。新しい時代を生きる皆さんには、タバコに関するこんな事情も知っておいて下さい。

産業デザイン科　奥田　恭久

Zero Tobacco Project
In WAKO Since 2005

volume 34
2016/4-7

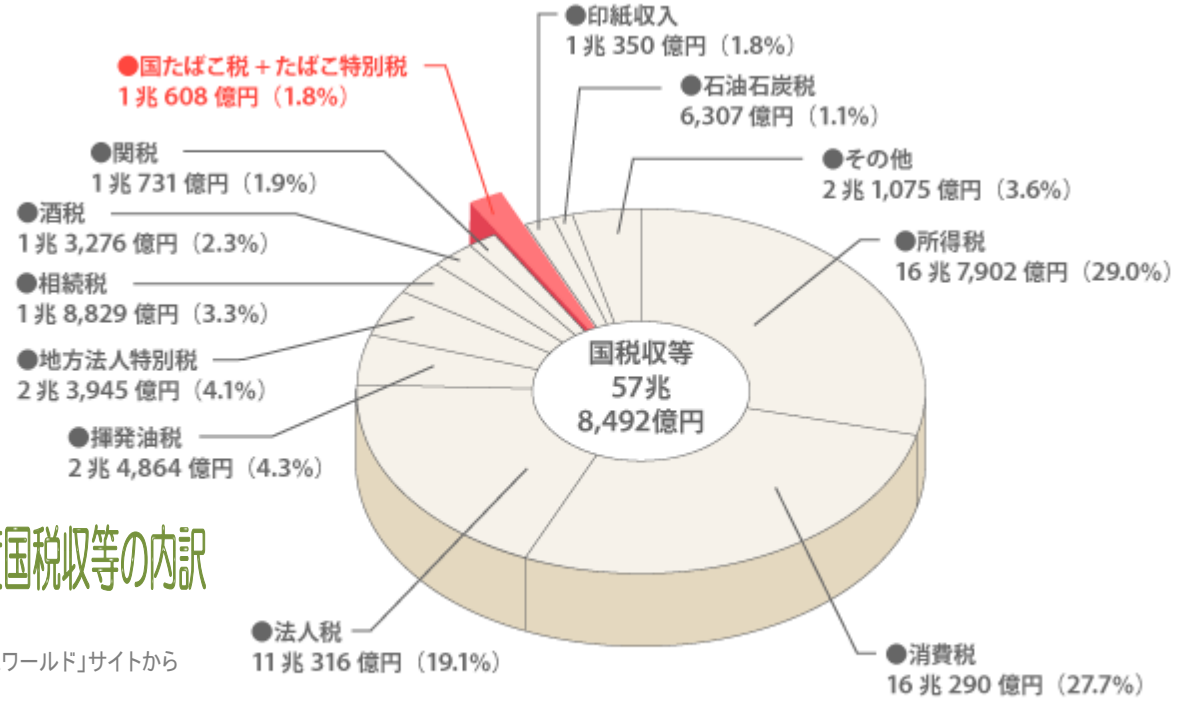
Serial number 475

第14話

週刊　タバコの正体

前回、タバコの値段には税金が多く含まれている事を紹介しましたが、今回はその総額がどれくらいになっているのか紹介しましょう。

下のグラフにあるように国税57兆8492億円の1.8%にあたる1兆608億円もあります。1兆円を超える税収があるのですから、タバコ税の存在は小さくないのです。



2014年度国税収等の内訳

JT「たばこワールド」サイトから

※四捨五入により、不符合の場合がある
出典：財務省

ところが一方、右の表を見てください。

喫煙は人々の健康を害し病気の原因になります。すると、その治療のための医療費や仕事を休むことによる労働力の損失などが発生します。また、タバコが原因の火災や、勤務中の喫煙時間分の労働力の損失なども合わせると「喫煙による経済的損失」の総額は、なんと6兆円を超えると推計されているのです。

※（財）医療経済研究機構2010年

喫煙による経済的損失推計の主な内訳

喫煙による過剰医療費と労働力損失	2兆3,660億円
受動喫煙者の過剰医療費	1,430億円
火災の消防費用・労働力損失	1,950億円
喫煙関連の清掃費用	40億円
喫煙者の過剰介護費	4,760億円
喫煙時間分の労働力の損失	1兆5,600億円
総額は6兆3,630億円に上る	

熊本日日新聞「医療QQ」サイトから

国の財政から見れば、タバコは1兆円以上の収入をあげていますが、日本社会全体で見れば6兆円の損失を出していることがわかります。つまり、毎年5兆円の赤字を出しているのです。こんな事情を気にする人は少ないでしょう。でも、将来の日本で暮らす君たちには、きちんと知ったうえで、タバコに関する環境を改善する意識を持ってもらいたいと思っています。

Zero Tobacco Project
In WAKO Since 2005

産業デザイン科　奥田　恭久